

ソフトボール競技会実施要項

1. 競技規則

適用する競技規則は、毎年の（公財）日本障がい者スポーツ協会制定「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び（公財）日本ソフトボール協会オフィシャルソフトボールルール並びに本大会の申し合わせ事項に基づいて行う。

2. チーム編成

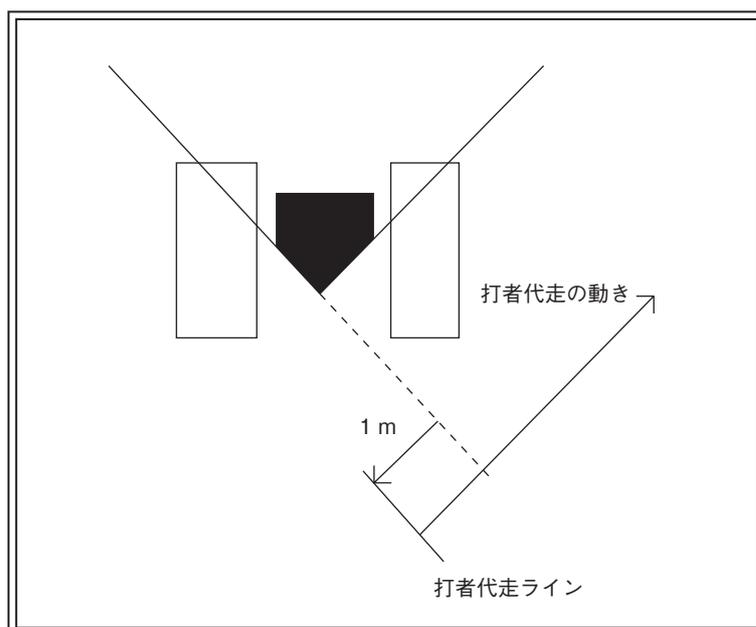
1チームの構成は、選手9名、補欠3名以内とする。（男女混成可）

3. 招集

- (1) 各試合ごとに、オーダー表（9名の先発選手と3名以内の交代選手）を試合開始前までに本部へ提出する。（用紙は競技本部で用意する。）
- (2) 招集開始時間は、原則として試合開始30分前とするので、選手待機所へ集合する。
- (3) 招集完了時間は、試合開始20分前とする

4. 競技方法

- (1) ファースト・ピッチにより試合を行う。
- (2) 試合は5回戦行い、試合時間は50分とし、試合開始50分経過後は新しいイニングには入らないこととする。
- (3) 同点の場合は、最終出場選手9名の抽選によって勝敗を決める。
- (4) 3回終了後、10点以上の得点差が生じた場合は、コールドゲームとする。
- (5) 投・捕間は13.11m、塁間は18.29mとする。
- (6) ホームランラインは60.96mとする。
- (7) ゴロ及びバウンドでホームランラインを越えた場合は、エンタイトルツーベースとする。
- (8) 試合球は3号球ゴム製とする。
- (9) ダブルベースを使用する。
- (10) 打者代走
 - ① 下肢障がい者で走塁が困難と認められる選手の打席には打者代走を認める。
 - ② 代走者のスタートラインは、3塁と本塁を結ぶフェールライン線の延長線からバックネット方向へ1m後退した地点とする。
 - ③ 代走者の資格は、大会登録選手とするが、塁上で自打順を迎えぬよう配慮すること。それ以外の塁上走者交代は、通常の選手交代とする。



- (11) 盗塁、振り逃げ、死球、捕手のパスボール、ランナー3塁のときのバントは適用しない。
- (12) 飛球をダイレクトで捕球された場合、走者はタッチアップすることができる。
- (13) 盗塁が行われた時、該当する走者はアウトとする。
- (14) 送球（飛球を捕球した後の送球含む）が、8mラインを越えた場合は、安全進塁権が与えられる。ただし、8mライン内はフリーとする。
- (15) 再出場（リエントリー）制・指名選手（DP）制を採用する。
- (16) 打者はヘルメット、捕手はスローガード付きマスク、ヘルメット、ボディープロテクター及びレガースの着用を義務づける。
- (17) 金属スパイクの使用は禁止する。
- (18) 参加チームが多い場合、あるいは競技の進行状況等から、協議により競技方法を変更することもある。

5. その他

- (1) 競技に関する打合せは、第1試合開始前に、全てのチームの監督（コーチ）を招集して行う。
- (2) 練習球は、各チームで準備する。
- (3) 競技に関する不明な点は、競技本部に問い合わせること。